



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場会社名 ダブル・スコープ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6619 URL http://w-scope.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔元根
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0兼経営企画本部長 (氏名) 竹居邦彦 (TEL) 03-5436-7155
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,986	92.6	86	—	72	—	140	—
25年12月期第2四半期	1,031	△36.6	△291	—	△210	—	△183	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 179百万円(△16.1%) 25年12月期第2四半期 214百万円(△63.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	9.93	9.81
25年12月期第2四半期	△12.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	11,954	10,069	84.0
25年12月期	11,758	9,878	83.8

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 10,036百万円 25年12月期 9,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,783	76.0	188	—	264	120.4	288	109.9	20.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	14,171,600株	25年12月期	14,171,600株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	—株	25年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	14,171,600株	25年12月期2Q	14,171,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11
(2) 設備投資の予想値	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、日本及び米国では回復傾向が継続、欧州でも回復基調に入ったものの、ウクライナ情勢の影響が懸念されるなど全体としてみると安定感のない状況でした。また、中国経済においては、緩やかな成長に留まりました。

当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池セパレータ事業におきましては、セパレータ市場全体では需要の拡大が続いております。これは民生用機器用途においては、リチウムイオンバッテリーの容量拡大等によるリチウムイオンバッテリー材料の市場拡大が寄与しております。また、EV（電気自動車）などの輸送用機器においてはHEV等の新規市場投入により、リチウムイオンバッテリーの市場活性化がセパレータの今後の需要見通しにも寄与するものと分析しております。これらの要因により過去軟調に推移してきた需給は、現在改善の方向に向かっていると予想しております。

当第2四半期連結累計期間は、当社グループの売上の71.0%を占める中国市場で繁忙期に入る事もあり、積極的な販売活動を行うと同時に顧客基盤の拡充に努めて参りました。また、本年4月より量産出荷を開始したLGグループの売上高は当第2四半期連結累計期間で10.9%を占めるに至りました。また、米国市場では既存顧客向けの売上が安定的に推移し、連結売上高に対し12.4%の構成比となりました。米国市場は主に、輸送用機器用途に関連したものと推計しております。日本の顧客向けには本年3月から民生用途に量産出荷を開始しておりますが、本格的な展開は第3四半期以降になるものと予想しております。

平均為替レートにつきましては、当第2四半期連結累計期間の対米ドルが前年同期比で約7.09円円安の102.49円、対1,000韓国ウォンでは前年同期比で約11.1円円安の97.6円となりました。

このような環境のもと、売上高は1,986,212千円と（前年同四半期比92.6%増）となりました。また、営業利益は86,369千円（前年同四半期は営業損失291,407千円）、税金等調整前四半期純利益は72,468千円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失210,713千円）、四半期純利益は140,779千円（前年同四半期は四半期純損失183,032千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては11,954,179千円となり、前連結会計年度末に比べ195,357千円増加しました。主な要因は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産につきましては5,303,467千円となり、前連結会計年度末に比べ121,209千円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の減少251,355千円、受取手形及び売掛金の増加256,664千円、商品及び製品の減少130,903千円によるものであります。固定資産につきましては6,650,712千円となり、前連結会計年度末に比べ316,567千円の増加となりました。これは主として、機械装置及び運搬具の減少139,826千円、建設仮勘定の増加392,609千円、繰延税金資産の増加83,911千円によるものであります。

(負債)

負債につきましては1,884,375千円となり、前連結会計年度末に比べ4,489千円の増加となりました。流動負債につきましては1,764,113千円となり、前連結会計年度末に比べ19,820千円の減少となりました。固定負債につきましては120,261千円となり、前連結会計年度末に比べ24,310千円の増加となりました。これは主として、退職給付引当金の増加21,817千円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては10,069,804千円となり、前連結会計年度末に比べ190,867千円の増加となりました。これは主として、四半期純利益の計上140,779千円、為替換算調整勘定の増加38,838千円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況について、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以

下「資金」という)の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ251,355千円減少し、2,934,649千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、351,764千円の収入(前年同四半期は100,583千円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益72,468千円、減価償却費346,867千円、たな卸資産の減少額113,697千円があった一方で、売上債権の増加額254,536千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、573,583千円の支出(前年同四半期は407,024千円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出572,766千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、該当ございませんでした。(前年同四半期は184,616千円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期以降の世界経済は、中国市場の成長率鈍化、ウクライナ情勢の影響による欧州市場不安定化などリスク要因はあるものの、全体としては緩やかな拡大基調が続くものと思われま。セパレータの市場動向につきましては、引き続き穏やかな需給の改善が見込まれ、また、長期的な市場構造にも大幅な変動はないものと分析しております。

この様な状況の中、当社グループではかねてより大手バッテリーメーカーへのマーケティング活動の強化を中心に積極的な営業活動を行ってきました。当第2四半期までに新規顧客への量産販売を開始しましたがこれらが第3四半期以降、売上の拡大に寄与するものと予定しております。

また、当社グループ韓国子会社における4号ラインの設備投資を続けておりますが、4号ラインの稼働は2015年度以降の想定に変更はなく、損益への大きな影響はございません。

平成26年12月期の連結売上高は4,783百万円(前期比76.0%増)、営業利益188百万円(前期は147百万円の営業損失)、経常利益264百万円(前期は119百万円の経常利益)、当期純利益288百万円(前期は137百万円の当期純利益)の想定に変更ございませんが、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

なお、業績見通しの前提となる通期平均為替レートにつきましては対1米ドル100.0円、対1,000韓国ウォン100.0円を想定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第1四半期連結会計期間より、子会社設立に伴い、W-SCOPE New Energy (Shenzhen) Co., Limitedを連結の範囲に加えております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,686,005	3,434,649
受取手形及び売掛金	591,488	848,153
商品及び製品	943,151	812,247
原材料及び貯蔵品	122,344	142,109
その他	81,687	66,307
流動資産合計	5,424,677	5,303,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,227,120	1,234,767
減価償却累計額	△234,973	△260,498
建物及び構築物(純額)	992,146	974,268
機械装置及び運搬具	6,521,928	6,709,271
減価償却累計額	△2,271,874	△2,599,044
機械装置及び運搬具(純額)	4,250,053	4,110,226
建設仮勘定	934,715	1,327,325
その他	127,732	137,984
減価償却累計額	△81,139	△91,320
その他(純額)	46,592	46,663
有形固定資産合計	6,223,508	6,458,484
無形固定資産		
その他	21,093	18,749
無形固定資産合計	21,093	18,749
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,865	156,777
その他	16,677	16,701
投資その他の資産合計	89,542	173,478
固定資産合計	6,334,145	6,650,712
資産合計	11,758,822	11,954,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,392	36,121
短期借入金	1,400,000	1,400,000
未払法人税等	9,987	15,071
繰延税金負債	9,171	12,806
その他	346,383	300,114
流動負債合計	1,783,934	1,764,113
固定負債		
退職給付引当金	26,024	47,841
繰延税金負債	131	127
その他	69,795	72,293
固定負債合計	95,951	120,261
負債合計	1,879,885	1,884,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,119,445	4,119,445
資本剰余金	4,065,445	4,065,445

利益剰余金	△29,495	111,283
株主資本合計	8,155,394	8,296,173
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,701,042	1,739,880
その他の包括利益累計額合計	1,701,042	1,739,880
新株予約権	22,500	33,750
純資産合計	9,878,936	10,069,804
負債純資産合計	11,758,822	11,954,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,031,462	1,986,212
売上原価	949,979	1,527,879
売上総利益	81,482	458,332
販売費及び一般管理費	372,889	371,962
営業利益又は営業損失(△)	△291,407	86,369
営業外収益		
受取利息	551	210
為替差益	35,877	-
作業くず売却益	18,798	26,413
その他	35,659	2,779
営業外収益合計	90,887	29,402
営業外費用		
支払利息	9,030	4,664
為替差損	-	38,480
その他	1,163	159
営業外費用合計	10,194	43,304
経常利益又は経常損失(△)	△210,713	72,468
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△210,713	72,468
法人税等	△27,681	△68,311
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△183,032	140,779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△183,032	140,779

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△183,032	140,779
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	397,131	38,838
その他の包括利益合計	397,131	38,838
四半期包括利益	214,098	179,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,098	179,617
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△210,713	72,468
減価償却費	282,147	346,867
受取利息及び受取配当金	△551	△210
支払利息	9,030	4,664
為替差損益(△は益)	△164	26,323
売上債権の増減額(△は増加)	△179,564	△254,536
たな卸資産の増減額(△は増加)	92,299	113,697
仕入債務の増減額(△は減少)	21,848	17,214
株式報酬費用	11,250	11,250
未払金の増減額(△は減少)	672	△14,467
その他	98,984	36,128
小計	125,237	359,400
利息及び配当金の受取額	551	210
利息の支払額	△5,358	△4,292
法人税等の支払額	△19,846	△3,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,583	351,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△404,964	△572,766
その他	△2,060	△816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407,024	△573,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△584,416	-
その他	△200	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,616	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,207	△29,536
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△467,850	△251,355
現金及び現金同等物の期首残高	3,960,127	3,186,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,492,277	2,934,649

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

当社及び連結子会社は、リチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであります。

従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
リチウムイオン二次電池用セパレータ	1,986,212	192.6
合計	1,986,212	192.6

(注) 1 当社及び連結子会社は、リチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、販売実績は、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	
	販売高 (千円)	割合(%)	販売高 (千円)	割合(%)
東莞市旭冉電子有限公司	562,383	54.5	1,020,747	51.4
天津力神電池股份有限公司	141,034	13.7	—	—
LGグループ	—	—	215,938	10.9

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 当第2四半期連結累計期間の天津力神電池股份有限公司については、当該割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。

5 当第2四半期連結累計期間のLGグループについては、LG Electronics Inc、LG CHEM, LTD. が含まれております。

(2) 設備投資の予想値

設備投資の予想値

会社名	事業所名 (所在地)	設備の 内容	セグメン トの名称	投資予定額		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後 の増加 能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
W-SCOPE KOREA CO.,LTD.	本社 (大韓民 国忠清北 道 清原 郡)	第4号生 産ライン 及び第5 号生産ラ イン	—	5,000,000	845,586	自己資金 及び増資 資金	平成24年 5月	平成27年 3月	生産量 約50%増

(注) 1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2 当社の事業はリチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしてありません。